

**第 13 回**  
**自治体国際交流表彰**  
**(総務大臣賞)**

**受賞団体事例紹介**

総 務 省  
一般財団法人自治体国際化協会

# 自治体国際交流表彰の概要

## 1 事業の目的

本表彰事業は、日本の自治体と海外の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動（以下、「自治体国際交流」という。）のうち、創意と工夫に富み、地域の振興に資するような取り組みを行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって、地域の国際化に資することを目的に、2006年度から毎年度実施しております。第7回表彰より名称を「姉妹自治体交流表彰」から「自治体国際交流表彰」と変更し、姉妹自治体交流だけでなく、特定分野の交流などについても広く募集の対象といたしました。

## 2 主催

総務省、一般財団法人自治体国際化協会

## 3 表彰対象

先進性、独自性、継続性、活発性、協働性・連携性、及び効果等の面から優れた自治体国際交流を行っている都道府県、政令指定都市、その他の市区町村、及び地域国際化協会・国際交流協会等の民間非営利団体を対象とします。

## 4 賞の内容

総務大臣賞 3団体以内

## 5 応募・審査

応募のあった団体、及び都道府県・政令指定都市から推薦のあった団体について、別途設置している「自治体国際交流表彰審査委員会」（委員長：中邨章 明治大学名誉教授）における審査を経て、総務省及び一般財団法人自治体国際化協会が受賞団体を決定します。

第13回表彰事業では、27団体から応募があり、厳正な審査の結果、以下の3団体に決定しました。

【総務大臣賞受賞団体】

滋賀県、新城市（愛知県）、立川・サンバーナディノ姉妹市委員会（東京都立川市）

### 【問い合わせ先】

一般財団法人自治体国際化協会 交流支援部交流親善課

住所：〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目7番 相互半蔵門ビル6階

電話：03-5213-1723 FAX：03-5213-1742 E-mail:shimai@clair.or.jp

URL：http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html

# 総務大臣賞

## 滋賀県

交流先: ミシガン州(アメリカ合衆国)

提携年月日: 1968年11月14日

### 地域の概要

#### 滋賀県



◇人口: 1,411,498人(2018.4月現在)  
◇面積: 4,017km<sup>2</sup>  
◇概要: 滋賀県は、日本のほぼ中央に位置し、周囲を山々に囲まれた盆地の中にあり、中心には県土の1/6を占める日本で最大の湖である琵琶湖があります。古くから交通の要衝の地として栄え、数多くの歴史文化遺産が今も息づいています。全国でもトップクラスの工業県であり、また、平均寿命の長い、全国屈指のご長寿県としても知られています。

#### ミシガン州



◇人口: 9,995,915人(2018.7月現在)  
◇面積: 250,487km<sup>2</sup>  
◇概要: ミシガン州はアメリカ合衆国中西部北東地域に属し、上半島と下半島に分かれています。五大湖のうち4つの湖に囲まれ、グレートレイク・ステート(五大湖の州)との別称があります。大都市デトロイトには自動車会社のBIG3が本拠を置き、州内には多くの自動車関連工場があります。農業ではリンゴやチェリー、ブルーベリーなどの果物、とうもろこし、大豆などの生産が盛んです。

### 交流事業の概要

- 滋賀県とミシガン州は、「湖」を縁に1968年11月14日に姉妹協定を締結し、交流が始まりました。湖と生きる自治体同士、水にまつわる苦労や悩みを共有し合い、お互いの発展について共に考えたいという思いがありました。
- 1976年、市民レベルの実質的な交流として友好親善使節団の相互派遣が始まりました。第1回目の派遣では165名の県民がミシガン州を訪れ、一般家庭でのホームステイを通じて米国民の生活や習慣、文化を体感するとともに友好親善を深めました。現在までに、3,000人以上の県州民が行き来しています。中には、この体験から国際的なキャリアに進む方もおられ、県民の人生に新たな道を拓く大切な事業となっています。
- 姉妹交流20周年を迎えた1989年には、国際交流拠点としてミシガン州立大学連合日本センター(JCMU)が設立されました。ここでは、アメリカからの留学生のみでなく、国内の学生や地域住民もあわせて現在までに約8,000人以上がともに語学や文化について学び、理解を深めてきました。修了生の中には、ミシガン州で日系企業に就職したり、外務関係の職に就く等、今も両県州と日米の友好の架け橋として活躍している方が多くおられます。
- 姉妹提携50周年を迎えることを記念し、2017年は滋賀県で、2018年はミシガン州で、2年に亘り50周年記念事業を開催しました。両県州の多くの方々が一丸となってさまざまなイベントを開催し、お互いの絆を深めるとともに新たな50年に向けて期待を膨らませました。

### 評価のポイント

- ◇ 湖という地域の特性を生かした姉妹都市交流が、50年にわたって継続し発展してきており、長年の交流の成果が多方面に現れている点は評価に値する。また、これまでに確立された事業の運営体制および培ったノウハウで、今後も交流分野のさらなる拡大が図られていくことが期待できる。
- ◇ 県内11市町村が州内13市郡区と姉妹都市関係になっていることは、全国的にも珍しく、県民・市民の間に交流事業が定着する上でも有意義であり、県レベルの国際交流の範となる。
- ◇ 日米双方の若者に教育の機会を提供し、次世代の育成、並びに市民交流の促進に貢献している点が素晴らしい。



滋賀県の友好親善使節団がミシガン州を訪問、日本の文化を紹介



JCMU に来られた第 1 期の留学生達



JCMU で留学生らが日本文化を体験



長浜市富田町に伝わる人形浄瑠璃「富田人形」がミシガン州で公演



ミシガン州アナーバー図書館で書道展の開催にあわせ、書道のワークショップも実施



ミシガン州バトルクリーク工業団地内に滋賀の名前がついた道路「シガドライブ」が誕生

【問い合わせ先】

滋賀県総合企画部国際課

住所：〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

電話：077-528-3060 FAX：077-521-5030

E-mail: kokusai@pref.shiga.lg.jp

URL : http://www.pref.shiga.lg.jp/

# 総務大臣賞

## 新城市(愛知県)

交流先:ニューキャッスル・アライアンス加盟都市  
(新城市含む 15 개국 17 都市)  
提携年月日:1998 年 11 月 12 日

### 地域の概要

#### 新城市



◇人口: 46,397 人(2019 年 5 月現在)  
◇面積: 499.23 km<sup>2</sup>  
◇概要: 愛知県の東部、東三河の中央に位置する、美しい自然が多く残る町です。桜や紅葉が美しく「三河の嵐山」とも呼ばれる桜淵公園をはじめ、国の名勝にも指定されている鳳来寺山など、市域に広がる国定公園・県立公園の指定区域には、特徴ある地形や豊かな植生、美しい景観が点在して訪れる人を魅了しています。

#### ニューキャッスル・アライアンス 加盟都市

ニューキャッスル市(オーストラリア)、クラリントン市(カナダ)、ノヴェフラディ市(チェコ共和国)、ニイボーグ市(デンマーク)、アハルツィヘ市(ジョージア)、ノイブルグ市(ドイツ)、ヤンピルス市(ラトビア)、コタバル市(マレーシア)、ヘルツェグ・ノビ市(モンテネグロ)、ノヴェザムキー市(スロバキア)、ニューキャッスル市(南アフリカ)、ヌシャテル市(スイス)、ニューキャッスル・アポン・タイン市/ニューキャッスル・アングー・ライム市(イギリス)、インディアナ州ニューキャッスル市/ペンシルベニア州ニューキャッスル市(アメリカ合衆国)、新城市(日本)

※各都市の地図は次ページに掲載

### 交流事業の概要

- 新城市が世界の「新城」に呼びかけ、1998 年に第 1 回ニューキャッスル・サミットを本市で開催しました。当時は 7 개국 8 都市から約 60 名が参加し、「国際間交流の進展による都市の発展」について議論しました。
- その後も 2 年に 1 度、世界の新城の各都市持ち回りで開催され、2008 年(第 6 回)のドイツでの会議から、市民も参加する現在の形である「アライアンス」会議に発展していきました。
- 各都市で会議が行われる中、ユース部門の創設や事務局組織の立ち上げ、加盟都市に訪れた際にホテルや施設で特典が受けられる制度「ニューキャッスル・パスポート」等が実現していきました。本市では特にユース部門の刺激を受けた若者が、若者議会を立ち上げることにつながっています。
- 2017 年には、初めてユースアライアンス会議を新城市で開催しました。市内の中学生を含む若者と世界の若者が「どのような政策が若者にとって魅力的か」というテーマについて検討し、アライアンスを PR する観光アプリのアイデアが生まれました。
- 2018 年(第 11 回)には、20 周年を迎えるニューキャッスル・アライアンス会議を新城市で開催し、多くの市民を巻き込み、本市を訪れた外国人と交流を深めました。会議では、「文化」「観光」「教育」「ビジネス」の 4 つの分野で、世界大交流時代におけるこれらの問題点や課題を共有し、その解決策や行動計画について議論し、共同声明を採択しました。また、市内企業をはじめとした東三河の 38 事業所と参加外国人のビジネスマッチングを目的とした東三河経済交流会も開催しました。

#### 評価のポイント

- ◇都市名にちなんで国際的なアライアンスを創るという発想がユニークであるだけでなく、若者の意見交換やビジネスフェアなど、交流を実質的なものとしている。
- ◇小規模自治体において 20 年間の交流継続に加え、15 개국 17 都市の加盟まで拡大し、多面的交流へと発展。交流活動を維持・推進する体制が確立し、事業の継続性が担保されている。
- ◇具体的かつユニークな取り組みを積極的に行い、他の自治体の規範となり得る。また、交流の成果として若者のまちづくりへの参画があることは評価できる。
- ◇行政のみならず、市民各層や経済団体が事業に参画しており、裾野の広がりを感じられる。また、交流のビジョンが明確で、将来的に他分野における具体的な事業の可能性も期待できる。



◇人口：322, 278 人  
 ◇面積：261.8 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：美しいオーストラリアの海岸の活気に満ちた港町ニューキャッスルは、ビーチ、安い物価、温暖な気候、自由なライフスタイルが特徴で、ニューサウスウェールズ州の州都シドニーから車で3時間ほど北に位置します。また、石炭と造船業の街として知られており、ニューサウスウェールズ州で2番目に大きな都市です。



◇人口：9, 167 人  
 ◇面積：611.3 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：1973年にボウマンビル、クラーク、ダーリントンが合併し創設されました。創設当初はニューキャッスルという名前でしたが、1994年にクラリントンに改称しました。トロントから東へ80キロの場所に位置し、絵画のような街で、穏やかに起伏している丘陵、農場、そしてマリナーが美しい街です。



◇人口：2, 600 人  
 ◇面積：79.68 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：南ボヘミア地方にあり、オーストリア国境付近のまちです。スロバキアやロシアからの占領の歴史を経て、1989年に民主化されたノヴェフラディでは、遺産や美しい自然への関心が高まり、観光産業が発展しました。要塞の役割を果たしていた「古城」と、宮殿である「新城」を拠点に観光客を魅了しています。



◇人口：16, 528 人  
 ◇面積：278.0 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：「ニイボーグ」はニイボーグ城として、1193年に初めてデンマークの歴史文献に登場し、町自体は、1202年に登場しました。1413年まで立法と司法の場として、ニイボーグ城が使われていたので、この期間までは首都だったと考えられています。風情のある古くからのショッピング街や、野外のシアターなどを楽しむことができます。



◇人口：17, 903 人  
 ◇面積：1.010 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：アハルツィヘは、ボツホヴィ川をはさんで北側が、要塞や教会などを観光できる旧市街、南側が新市街になっています。1576年にオスマン帝国領となり、1628年からは同国のアハルツィヘ州の中心都市になりました。17世紀に隆盛を誇ったオスマン・トルコの影響が強く残っており、アルメニア人、ユダヤ人が多く居住しています。



◇人口：29, 587 人  
 ◇面積：81.32 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：バイエルン州中西部、ドナウ河畔の平野に開けた、歴史の古い美しい景観の城塞都市です。文化財が多くあり、それらの貴重な遺産の保存に努めています。ドイツ国内には「ノイブルク」という名の地名が複数あるため、それらと区別するために「an der Donau」(「ドナウ川沿いの」の意)が付けられました。



◇人口：2,800人  
 ◇面積：210.2 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：ヤンピルスのシンボルは、14世紀に建てられた城で、ヤンピルスの財産でもあります。城は図書館の役割だけではなく、そこでイベント等が行われ、観光客も魅了しています。城、ルーテル教会、水車場などがヤンピルスの文化と歴史の中心となっています。産業は主に農業と食品加工です。



◇人口：314,964人  
 ◇面積：115.64 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：マレー半島の北東部クランタン州の州都であるコタバルは、タイ国境に近い港町です。様々な民族が暮らす多民族国家のマレーシアにおいて、住民の大多数がマレー系であるコタバルは、マレー文化が色濃く残る街として知られています。またマレーシア国内で最もイスラム色が強いといわれています。



◇人口：33,034人  
 ◇面積：235.0 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：アドリア海沿岸の都市で、コトル湾の入り口、オリエン山の麓に位置しています。ヘルツェグ・ノヴィはモンテネグロ有数の観光名所で、滞在型スパと健康センターが有名です。その他にも、フォルテ・マーレ城、時計塔、カンリ塔や大天使ミカエル教会といった、歴史と文化を感じられるスポットがよく知られています。



◇人口：39,585人  
 ◇面積：72.565 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：ノヴェザムキーは首都ブラチスラヴァから約100km離れており、ハンガリー国境へは25kmほどです。南スロバキアの、鉄道のハブ駅としても有名です。ノヴェザムキーでは、ハンガリーやオーストリアに統治されていたこともあり、ハンガリー、オーストラリア、チェコ料理との共通点が多く見られる食事を楽しむことができます。



◇人口：56,144人  
 ◇面積：75.79 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：クワズール・ナタール北部の商業・産業の中心地であり、州で3番目に大きな都市です。ニューキャッスルは1864年に創立され、当時の植民地大臣であった、イギリスのニューキャッスルの伯爵にちなんで、この名前がつけました。起伏に富んだ地形と自然を活かしたアウトドアスポーツやレジャーが盛んです。



◇人口：33,712人  
 ◇面積：18.05 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：スイス最大規模を誇るヌシャテル湖の北端にある、ヌシャテル州の州都です。「新しい城」を意味する地名のように、10世紀末に建てられた丘の上にそびえる古城の下に町がつくられていきました。城に隣接する教会、歴史的な市庁舎、独特の黄色がかかった石造建物が並ぶ旧市街など、今でも随所に中世の面影を感じることができます。



ニューキャッスル・アボン・タイン市  
 ◇人口：259, 573 人  
 ◇面積：113.0 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：ノーサンブリア州の州都であり、イングランド北部最大の町です。2000 年以上の歴史があり、ローマ時代にはすでにタイン川に橋がかけられました。ニューキャッスルと呼ばれるようになったのは 11 世紀。町の由来となった城壁は、現在でも鉄道駅の横にその姿を留めています。

ニューキャッスル・アンダー・ライム市  
 ◇人口：122, 040 人  
 ◇面積：211.0 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：イングランド中西部、スタッフォードシャー県北西部の都市です。市の名前は 1145 年頃チェスター伯が建てた新しい城（ニューキャッスル）に由来します。永い歴史と伝統のある美しい町並みを残しつつ、ハイテク製品の製造が盛んなスタッフォード地方の中心都市です。



インディアナ州ニューキャッスル市  
 ◇人口：18, 114 人  
 ◇面積：19.10 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：このニューキャッスルは 1823 年に創立され、ケンタッキー州ニューキャッスルにちなんで名付けられました。地形は平坦で緑が多く、犯罪の極めて少ない町です。バスケットボールが盛んで、市内には世界最大の高校の体育館があり、多くのバスケットボールスター選手を輩出している町でもあります。

ペンシルベニア州ニューキャッスル市  
 ◇人口：23, 273 人  
 ◇面積：22.1 km<sup>2</sup>  
 ◇概要：なだらかな起伏の少ない丘陵地に開けた町で、大学や病院などの施設が整ったアメリカの典型的な地方都市です。ピッツバーグ市の北西 80 キロに位置し、ペンシルベニア州とオハイオ州の州境近くにあります。「世界のホットドッグの首都」「世界の花火の首都」とも呼ばれています。





【第1回ニューキャッスル・サミット in 新城】  
各都市が固い絆で結ばれることを祈り、堅い性質を持つケヤキを植樹（1998年）



【第8回ニューキャッスル・アライアンス会議 in イギリス】この年から創設されたユース部門の若者を含めた集合写真（2012年）



【第11回ニューキャッスル・アライアンス会議 in 新城】市内小学校の児童が各都市の手作り国旗を作成し、海外からの参加者をお出迎え（2018年）



【ジャパニーズフェスティバル（第11回）】日本文化を体験できるイベントでの海外参加者と市民ボランティアの交流（2018年）



【ユース部門ディスカッション（第11回）】市内企業や県内の大学からサポートに来てくれたボランティアも交えたディスカッションの様子（2018年）



【市民送別セレモニー（第11回）】新城市長から次回開催都市のヌシャテル（スイス）市長へ大会旗引継ぎ（2018年）

#### 【問い合わせ先】

新城市企画部企画政策課

住所：〒441-1392 愛知県新城市字東入船 115 番地

電話：0536-23-7696 FAX：0536-23-2002

E-mail：newcastle@city.shinshiro.lg.jp

URL：http://newcastle.moon.bindcloud.jp/

# 総務大臣賞

## 立川・サンバーナディノ 姉妹市委員会(東京都立川市)

交流先:サンバーナディノ姉妹市委員会(アメリカ合衆国)  
提携年月日:1959年12月23日

### 地域の概要

#### 立川市



◇人口:183,923人(2019年4月現在)  
◇面積:24.4km<sup>2</sup>  
◇概要:東京都の中心よりやや西側に位置し、JR中央本線・青梅線・南武線・多摩都市モノレールが乗り入れる東京三多摩地区の中心都市。大正11年に立川基地が開港、戦前は日本空軍、戦後はアメリカ軍立川基地がある基地のまちとして発展。昭和52年の全面返還後には、跡地に国営昭和記念公園、災害時の緊急対策本部が設置可能な立川防災基地を有する防災都市でもある。

#### カリフォルニア州



◇人口:216,239人(2019年4月現在)  
◇面積:153.5km<sup>2</sup>  
◇概要:ロサンゼルス東約100kmに南カリフォルニアの中心部に位置する。1810年スペインのカトリック教フランシスコ派により、カリフォルニア州内陸部におけるヨーロッパ人の初めての町としてつくられた。現在は、米国南西部の交通要地として栄え、サンバーナディノ郡の中心地である。サンバーナディノ郡は、郡としては全米第一の面積を有し、ルート66の通過都市でもある。

### 交流事業の概要

- 立川市とサンバーナディノ市には当時面積・産業・交通等、類似点が多く、また、サンバーナディノ市及びその周辺には日系アメリカ人も多く、日米親善にも有意義ということから、立川航空基地情報部に姉妹都市縁組斡旋の依頼がありました。昭和34年(1959年)12月23日に両市は姉妹市提携を締結し、翌昭和35年には文化・経済等の交流を通じての両市民の親善と理解、世界平和達成を目的として立川市姉妹市委員会が結成されました。昭和37年に開始された両市高校生の親善交換訪問が中心的な事業となっています。両市の派遣高校生たちは、里親宅に1ヶ月ずつ交互にホームステイします。立川市滞在中は市内見学、学校訪問、青年クラブセミナーキャンプ、支援団体共催のバス旅行等を体験します。若い時に異国の生活、文化等を体験しその風土に触れることは大いなる感動であるでしょうし、視野を広げ、まさに世界市民としての自覚を促すことでしよう。現在まで、60年間の長きにわたり交流事業が継続しています。
- 派遣生OB,OGには国際的に活躍している人も多く、また表には出ずとも、各人がそれぞれの立場で派遣生だったことの誇りを胸に頑張っています。本委員会は行政に加え市内五団体(2ロータリークラブ、ライオンズクラブ、ソロプチミスト、青年会議所)の支援と協力を得、派遣生OB,OGの「青年クラブ」、その親の「親の会」等の組織も充実し、毎年両市の高校生交換事業は堅実に促進され、市民にも広く知られる活動となっています。
- また、周年を迎える年には両市がそれぞれ代表団を組織して表敬訪問を行う他、市民レベルでの文化・教育等の活発な交流が行われ、本年は60周年として5月に本市がサンバーナディノ市を訪問し、10月に訪問団が来日する等の周年行事の企画を進めています。なお、5月24日にはサンバーナディノ市の姉妹市委員会が日本政府ロサンゼルス総領事から表彰を受け、ダブルの受賞となりました。

### 評価のポイント

- ◇60年近く高校生交換事業を継続し、多くの若い人材育成に貢献し、確実に活動成果が生まれつつある。
- ◇行政から委員会主導に変わる段階で自立化を図り、市内の各種団体の協力を得ながら、「青年クラブ」や「親の会」が中心的な担い手になるなど、長い歴史における発展段階の中で進化が見られる。
- ◇派遣生が後続の高校生の交流をサポートする役割を担い、良い循環が生まれている。
- ◇災害時における市民間の義援金の動きなど、60年の長期にわたって交流を継続した効果が、市民間にも広がりを見せている。



今年も立川にやってきました！  
(2018年6月24日)



交換高校生歓送会にて



サン市派遣生の帰国と立川市派遣生の出発



見送りでホストファミリーも勢ぞろい



六団体旅行。おなじみの浅草雷門。大きい提灯お化け？！



サンバーナディノ姉妹市委員会元委員長  
テルマ・プレス氏親子と(サンバーナディノ市  
での姉妹市提携60周年記念式典にて。2019年  
5月25日)

**【問い合わせ先】**

立川市産業文化スポーツ部協働推進課

住所：〒190-8666 東京都立川市泉町 1156-9

電話：042-528-4315 FAX：042-524-2603

E-mail: kyoudousuishin@city.tachikawa.lg.jp

URL: <https://www.city.tachikawa.lg.jp/>